



人工知能 (AI) など最新技術を活用し、

地域で連携して電話de詐欺被害を防止しようと、市川署とNTT東日本千葉西支店(船橋市)は、防犯訓練を行った。市川市内の高齢者21人と同署員、東京ベイ信金職員がビデオ通話で参加。高齢者役のNTT職員が口座番号などを聞き出そうとする電話を受けると、参加者らへ自動音声による注意喚起の電話が届く様子が実演された。

訓練ではAIが通話内容を解析し、詐欺の疑い

被害防止へ最新技術活用

AIが通話解析、親族に連絡



▲ AIなど最新技術を活用して行われた防犯訓練
船橋市

があれば親族らに知らせる「特殊詐欺対策サービス」を利用。さらに、同サービスと連動し、近隣住民などの登録した電話番号に自動で注意を呼びかけるメッセージを一齐送信する「シン・オートコールシステム」も実演され、実際に同高齢者宅や同信金の電話にメッセ

NTT・市川署が訓練、高齢者ら参加

ージが流れた。参加した同市の板橋治和さん(74)は息子をかたる詐欺の電話を受けたことがあるといい「防犯意識を高めるいい機会になった」と話した。

同システムは現在開発中で、災害時の避難指示への活用も目指しているという。

同署管内の被害は11月末時点で97件(昨年比21件増)、被害額は約1億5千万円。斎藤誠署長は新たな機能について「画期的な印象。詐欺撲滅に向け一つの大きな武器になるのは間違いない」と期待した。